

令和2年度北河内保健医療協議会(書面開催)の議決結果

<協議会の成立>

意見書提出委員

伏見委員、広瀬委員、西端委員、宮本委員、東坂委員、東委員、黒田委員、渡邊委員、香川委員、博多委員、外山委員、浅田委員、波戸委員、北川委員、中川委員、村橋委員、滝川委員、新井委員、平沼委員、岩瀬委員、寒川委員、増田委員、喜多委員、岩本委員、澤田委員、林委員、生野委員、長尾委員、山口委員、岩出委員、田島委員、阪本委員、小野委員、池邨委員、鎌方委員、垣内委員、羽尻委員、河合委員、松谷委員、森脇委員

令和3年2月15日に発出した書面開催については、委員定数40名のうち、過半数を超える40名から意見書の提出があり、本協議会は成立しましたので、以下のとおり、審議結果をお知らせします。

<審議事項の議決結果>

議題	内容	結果
議題4	北河内二次医療圏における各病院の今後の方向性 ・学校法人関西医科大学 関西医科大学くずは病院	承認する
議題7	地域医療支援病院の名称使用承認について ・市立ひらかた病院	同意する

<議題に対する意見>

■議題1 令和2年度地域医療構想の進捗状況

【資料1】令和2年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

(主な意見)

〇コロナ禍ではあるが、地域医療構想の本質からはずれることなく、基本的な考え方については変更なく進めていただきたい。

■議題2 令和2年度基準病床数の見直しの検討について

【資料2】令和2年度 基準病床数の見直しの検討について

(主な意見)

- コロナの収束まで増加はやむなしと考える。
- 今回の新型コロナウイルス感染症発生にともなう病床運営の全国的混乱を教訓として硬直した計算式にもとづく基準病床数の考え方を改め、新しい認可病床数決定のあり方を考えるべき。

■議題3 北河内二次医療圏における地域医療構想の進捗状況

【資料3】2020年度北河内二次医療圏「地域医療構想」現状と今後の方向性

(主な意見)

- 急性期病床から回復期病床への転換をいたずらに急ぐべきではないと考える。

■議題4 北河内二次医療圏における各病院の今後の方向性

4-1 学校法人関西医科大学 関西医科大学くずは病院の病院プランにおける「回復期病床から急性期病床への転換」に関する承認または不承認について

【資料4-1】令和2年度病院プラン調査結果一覧(北河内)

【資料4-2】関西医科大学くずは病院病床数変更に関する理由書

(主な意見)

【承認の理由】

- 整形外科の急性期病院が少ないため。
- 整形外科手術を要する二次救急の需要は今後も増加する可能性が高いため。

【不承認の理由】

- 地域から期待されている役割や現在の状況は理解できるものの、長期的には回復期病床の減少は望ましくはない。ただし、必要性があると判断されての選択であることを重く受け止めるとともに、感染症対策としての急性期病床の必要性も認識する必要があると考える。
- 急性期病床削減の原則に反するから。
- 不足する回復期病床から過剰な急性期病床への転換は認められない。関西医科大学の急性期の実質的な増床になり、地域全体で急性期を減らそうと努力していることにも反する。以前より、くずは病院の機能は変えないと言っていた。
- 地域医療構想の趣旨に合致しないから。

4-2 非稼働病床の現況について

【資料5】非稼働病床の現況について(北河内二次医療圏)

(主な意見)

- 今は非常時のため、すみやかに再稼働できる体制を構築して欲しい。

4-3 重点支援区域の申請について

【参考資料 4-1】重点支援区域について

【参考資料 4-2】重点支援区域の申請について

○特に意見なし。

4-4 新たな病床機能の再編支援について

【参考資料 5-1】新たな病床機能の再編支援について

【参考資料 5-2】令和 2 年度病床機能再編支援事業の実施について

(主な意見)

○臨機応変にお願いしたい。

■議題 5 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

【資料 7】地域医療への協力に関する意向書提出状況(診療所新規開設者)

【資料 8】地域医療への協力に関する意向書提出状況(医療機器新規購入・更新者)

○特に意見なし。

■議題 6 北河内二次医療圏における第 7 次医療計画取組状況の評価について

【資料 9】2020 年度 第 7 次大阪府医療計画 PDCA 進捗管理票北河内二次医療圏

○特に意見なし。

■議題 7 地域医療支援病院の名称使用承認について

【資料 10-1】地域医療支援病院について

【資料 10-2】地域医療支援病院の申請について

【資料 10-3】市立ひらかた病院 地域医療支援病院の承認申請について

【資料 10-4】市立ひらかた病院 地域医療支援病院の承認要件一覧

(主な意見)

○北河内の唯一の公的病院として、又地域医療支援病院として地域に貢献してもらいたい。

■議題8 地域医療連携推進法人の定期報告について

【資料 11-1】地域医療連携推進法人「北河内メディカルネットワーク」事業報告書

【資料 11-2】地域医療連携推進法人「弘道会ヘルスネットワーク」事業報告書

○特に意見なし。

■議題9 救急告示病院の認定と「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」の改正について

【資料 12-1】令和2年度北河内圏域 救急告示病院の認定について

【資料 12-2】大阪府傷病者の搬送及び受入れの実施基準の改正について

【資料 12-3】傷病者の搬送及び受入れの実施基準(大阪府北河内圏域版)

(主な意見)

○当消防組合では、救急隊にORIONを活用したうえで本実施基準に基づいた緊急性判定から傷病者の病態に適した医療機関選定を実施するように指導している。各医療機関様におかれましては引き続き、ホットライン対応の医師及び看護師の皆様へ周知のほどよろしくお願いしたい。

■議題10 新型コロナウイルス感染症を踏まえた今後の医療提供体制について

【参考資料6】新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた今後の医療提供体制の構築に向けた考え方

(主な意見)

○新型コロナウイルス感染症の流行では、地域でも発熱患者が受診できなかったり、必要な人が入院治療を受けられない事態が起こることがわかった。

第8次計画では、入院・外来・地域開業医も含めた体制づくりについて、自治体も含めた議論の場を設けていただきたい。

○災害時(地震、洪水、放射線等)を考えると最大限に広げて徐々に縮小を考えるべきだと思う。

○今回の新型コロナに限らず、5～10年ごとに新たな感染症が発生することを考えると、中長期的に病床数に余裕が必要ではないかと思う。現実には今回の医療ひっ迫で、他疾病の医療提供に問題が出ていると思う。

○特に感染症に対応可能な急性期病床(高度急性期を含む)の整備を進める必要があると考える。

■議題11 その他(北河内救急懇話会の報告について)

【資料 13-1】北河内救急懇話会 開催概要

【資料 13-2】北河内 MC 協議会と北河内救急懇話会の一体化について

○特に意見なし。